

## 忠類地域振興について



### 問

幕別町と忠類村が合併して5年目を迎えた。他の厳しかった町村が今でも一つの自治体として頑張っている姿を見ると、合併しなくても良かったのではないかと思っている住民も多い。村の名前は消え、公共料金は上がり人口は減少したことにやり切れない思いでいる。しかし、定住促進住宅整備や特老の計画が決まり、4月からは駒島小学校が忠類小学校に統合となることは合併の効果であることも理解している。以下伺う。

### 町長

①当初推計した、財政効果はだいたい現状では進んでいると思っている。交付税の今後の在り方は、まだまだ不透明だと思っているので、国の財政状況を見極めながら対応したい。

忠類地域の皆さんとは十分話し合いながら、合併して良かったと言われるよう、さらに意を用いながら協働のまちづくりを進めていきたい。

②本年2月末現在では、1713人、723世帯で、人口で141人の減、世帯数で18世帯の減である。これまで全体の経済効果を算出したものはないが、シーニックカフェや雪上パークゴルフなど新たな拠点として交流人口を生んでおり、それらの経済効果は飲食店など含め、少なからずあるものと思っている。

③住民会議の忠類地区に対する熱い思いに敬意を表す

るとともに、町としても提言内容については重く受け止めている。

今後とも提言の柱である協働の精神に基づき忠類地域の活性化に努めたい。

忠類総合支所の大きな役割は、いかに忠類地域のみなさんの意向・ニーズを把握しながらそれを行政の中へ反映させていくことが、大きな役割であると思っている。

## 文化スポーツ振興について

### 問

バンクーバーオリンピックに高木選手が出場し注目が集まり、世界の子供たちに夢と感動を与えてくれたことに感謝する。

陸上の福島選手、マウンテンバイクの山本選手、そしてスピードスケートの高木選手はまだ若く、活躍を期待されている。

また、本町の多くの児童・生徒が少年団や部活動を頑張っている。以下伺う。

①オリンピックの支援体制の評価。

仕事の分担、職員配置についても、十分内部での検討重ねた中で、対応したい。

④忠類地域の現況調査をはじめ、住民意向の把握をし、さまざまな角度から活性化の方策を検討している。

活性化診断により、地域課題の解決や今後の活性化プランの具現化に向けた施策など、行政と住民との協働によって活性化に向けた取り組みを進めていきたい。

援をいただいたことに、心から感謝している。

②少子化が進む今日、文化・スポーツの振興を図るとともに、より良い環境づくりによって底辺の拡大に努めることがますます重要となっており、地域の子どもたちが大きな夢と目標を持ち、安心して活躍ができるよう、支援体制の強化に向けて、検討を進めていきたい。

ふるさと納税については、法的な問題も含めて内部で検討していきたい。

③選手の皆さんを招き交流を図ることは非常に有効と考えるが、現状難しい面があり、町勢要覧等の刊行物に掲載するなどの手法を検討したい。

オリンピックに選手を派遣したことで、幕別町の知名度も上がったと思うので、このことを利用して駒島小学校跡の宿泊施設の利用、グラウンド等の活用ができるものを利用しながら、これからのまちづくりの中に活かしていきたい。当然教育委員会とも連携しながらおこないたい。

### 町長 教育長

①支援体制の評価については、町民有志の「応援する会」により、各種活動を実施したので、教育委員会は評価する立場ではないが、オリンピックまでの短い期間にもかかわらず、多くの町民の皆様参加と熱い応